

# “ 10年後の彼を見つめた応援団づくり ”

～未来への下ごしらえ～

“ 働くということ ”

私たちが毎日たくさんの  
「働きたい」と出会う。  
その「働きたい」思いには  
色んな意味がぎっしり。  
家族への愛や自分のヘタクソや  
自慢したい気持ち。  
稼いだお金で居酒屋へ・  
彼らの「働きたい」と出会う度、  
「働くこと」が持つ力の  
大きさに驚き、学ぶ。  
また「働くこと」は  
単なる作業ではなく、  
生きる力を育むステージ・  
そんなステージに立つ姿は  
誰もが真剣、誰もがカッコイイ、  
誰もがほんまもん。  
輝く場所がここにある。

Tekito-

東近江圏域 働き・暮らし応援センター “Tekito-  
センター長・支援ワーカー 野々村 光子”

# 『働き・暮らし応援センター事業』

障害のある方の就労実現を行う為、多岐に渡る他機関との連携を含め必要な生活支援の実施と共に、障害者の就労ニーズと企業の雇用ニーズをマッチングさせ就労の促進を図る事を目的とし福祉圏域単位にて設置される事となった。

甲賀・大津・湖西・湖東・東近江・湖北・湖南の全ての福祉圏域に設置。  
(平成18年4月～東近江圏域開始。)

## 【東近江圏域の障害者状況】

東近江圏域人口 218,349人

在宅障害者	10,587人
身体障害者	7,927人
知的障害者	1,272人
精神障害者	1,388人

# 『 Tekito- 』

Tekito-

生活、就労・・・全てその人の24時間の中に存在するもの。

だからライフスタイルはその人のもの。

だったら、そのスタイルがその方にとってちょうど適当である方が良い。

そして、そんな24時間の積み重ねの毎日に地域の風が通り

過ぎその風を感じられるゆとりが持てるテキトーさが存在す

るならもっと良い・・・と思います。

[ 広辞苑 応援センター ]

# 『生活苦しいねん vs 働きたいねん』

【働き・暮らし応援センター“Tekito-”利用状況】

利用者／813人（H27. 3月末現在）

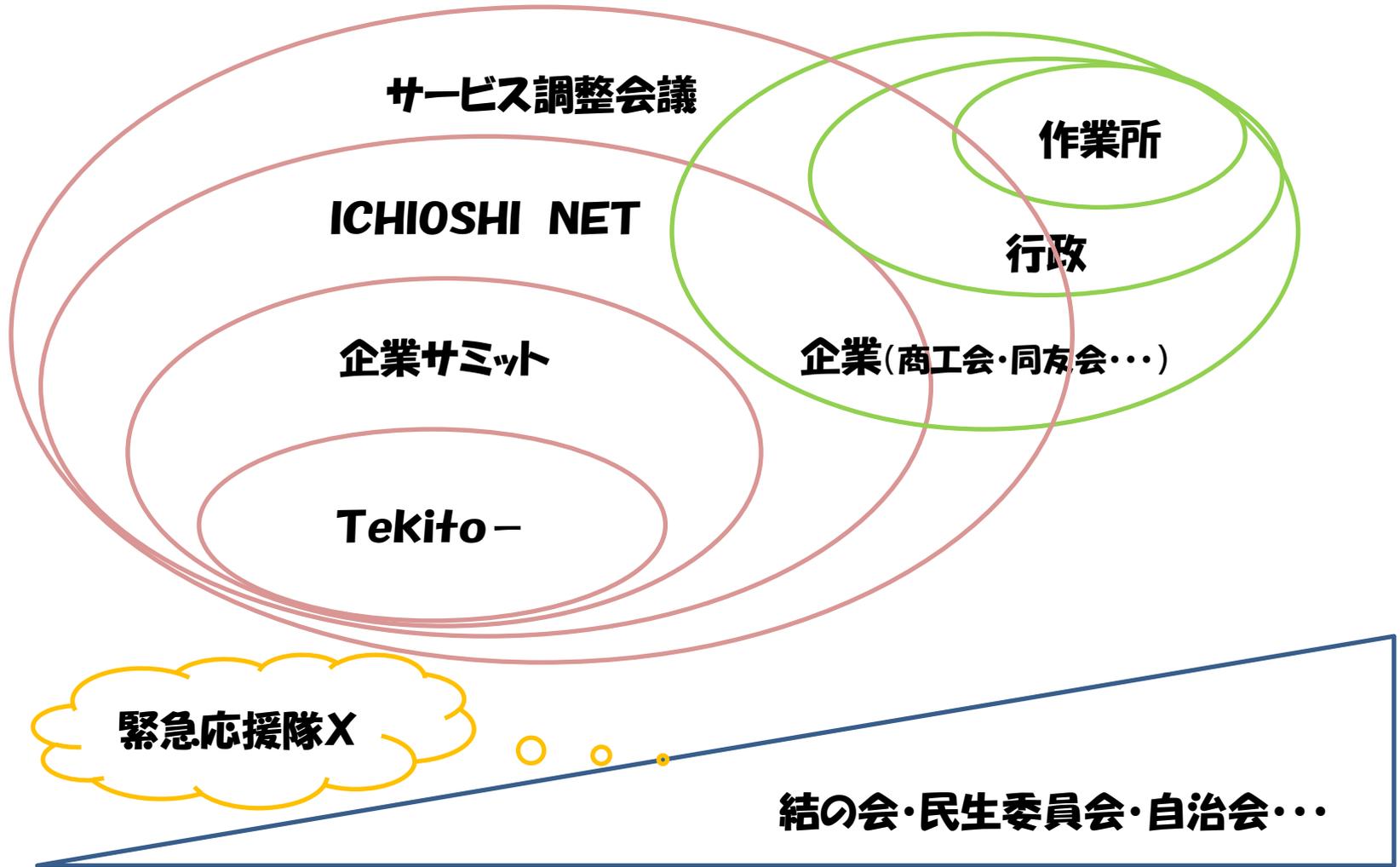
障害状況		年齢層		生活スタイル	
身体	71人	15～19才	177人	グループホーム	26人
知的	334人	20～39才	421人	自宅（家族同居）	691人
精神	252人	40～59才	201人	自宅（独居）	82人
その他	156人	60才以上	14人	その他	14人

「働きたい」から始まる就労支援

「働きたいねん」の奥にあるもの・・・



# 『働きたい応援団の仕組み』



# 『働きもん達』

## 働き暮らし事業

身・知・精・癸・難・高

- 【障害がはっきりしとる】
- 【障害者雇用枠に入る】
- 【働ける状態にある】

企業就労を極とした相談

企業（見学・実習・面接）

働きもん事業の活用

障害者求人開拓

アフターフォロー

## 生活困窮者自立支援事業

身・知・精・癸・難・高

- 【障害がはっきりしとる】
- 【福祉制度が使える】
- 【働ける状態にない】

今の力を知るために相談

企業（見学・実習）

作業所への繋ぎ・アフター

働きもん事業の活用

就労への具体的支援

ようわからん

- 【障害がまだ不明】
- 【障害がない】
- 【働ける状態にある】
- 【働ける状態にない】

働く事から今を知る相談

働きもん事業の活用

企業（見学・実習）

専用求人開拓・アフター



『就労を目標にしない。生き方を大事にする。』

～ひろゆきさんに教えてもらったこと～



**働く力は生きる力や。  
人生は太っちょで行こう。**

# 『TEAM 困救』

時代の流れと共に  
地域の「困りごと」は見えづらく、そしていつの間にか  
それは「諦めごと」になり始めている。

私たち‘働きもん’は、そんな地域の困りごとを救う  
チームである。

誰が困っても解決できる地域へ…

そんな事を目指す我らは…Team 困救

『地域を救う担い手はここに居る』

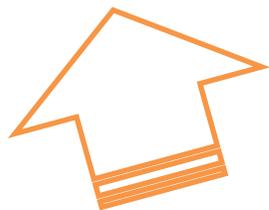


**中途半端な輝ける場所**

～カッコつけて生きて行こう～

# 『地域は生きるアイテムや』

見学・実習企業



いつでもOK

百済寺

企業より  
間伐材処理作業

人参引き抜き作業

人参農家からの  
オファー

森三商会

社長宅の  
豪華庭 除草作業

Green

図書館の  
景刈り作業

マーガレット  
ステーション

プレハブ解体

ラベンダー

企業からのオファー  
作業現場跡の解体

薪遊庭

企業における  
薪割り作業

企業と共に  
着火材製造中

CHAKKA

おみくじ大作戦

奈良の有名な神社のおみ  
くじを願いを込めて折る

郵便局とのコラボハガキの仕  
上げ作業・平和堂との  
コラボ商品の仕上げ作業

KIKITO

就労準備中の若者達



# 『 男前で溢れる地域へ 』

【TEAM困救 状況】

2014. 4.1~2014. 12. 31

ステージ	参加人数	企業卒業	ものがたり
百済寺	9人	2人	自信なし男子26歳。 年下男子にカッコつける。
葉刈り	16人	4人	60歳で久々に外に出たオッサン。 鎌の使い方を褒められ得意気。
薪割り	8人	4人	自分の力と気持ちの都合を掴み、 アルバイトへ飛び立った42歳。
プレハブ	5人	1人	養護学校卒業を隠して生きてきた男子。 今の自分の一番は作業所やと知る。
CHAKKA	15人	2人	虐められ、独りで生きて行くと決めていた 28歳。人の事を気にし始めた。
下請け	17人	1人	家族0、知り合い0、仕事リストラ。 手先の器用さを言われて気づいた女子。
その他	4人	1人	脳梗塞発症後、家族からは厄介者。 若者に声だけの監督になる。

# 『男前になる為に・・・』



# 『男前』



働いて金貯めて、家のテレビ買った。  
働くと良いこともある。

# 『明日も気張ろ』

